

第24回全国中学生都道府県対抗野球大会 in 伊豆 大会要項

2026年10月9日

- 1 目 的 「明日の日本を担うグローバルな青少年を育てる」という教育視点より、
① 野球競技を通じた青少年の健全な育成
② 中学生の身体の成長段階を考慮し高校野球へのスムーズな移行
③ 開催地の地域活性化への寄与 を目的とする。
- 2 会 期 2026(令和8)年10月31日(土)～11月2日(月) 予備日11月3日(火祝)
※試合日程はトーナメント表の通り
- 3 会 場 「伊豆志太スタジアム」 静岡県伊豆市下白岩1434
「伊東市営かどの球場」 静岡県伊東市鎌田1281-1
- 4 主催主管 一般財団法人日本中学生野球連盟
- 5 共 催 沼津市 熱海市 三島市 伊東市 伊豆市 伊豆の国市 清水町
- 6 特別後援 一般財団法人全日本野球協会(B F J)
公益財団法人日本野球連盟(J A B A)
公益財団法人全日本軟式野球連盟(J S B B)
全国中学生都道府県対抗野球大会応援議員連盟
- 7 後 援 スポーツ庁 静岡県 沼津市教育委員会 三島市教育委員会
熱海市教育委員会 伊東市教育委員会 伊豆市教育委員会
伊豆の国市教育委員会 清水町教育委員会 NHK 全国新聞社事業協議会
株式会社共同通信社 読売新聞社 静岡新聞社・静岡放送
- 8 協 力 一般財団法人静岡県野球連盟 日本大学国際関係学部硬式野球部
株式会社J T B ヒューマンアカデミー株式会社 三島信用金庫
伊豆箱根鉄道株式会社 一般財団法人地域みらい創造財団
- 9 協 賛 シダックス株式会社(特別協賛) ナガセケンコー株式会社

10 大会本部

(1) 会期中：「ホテルワイナリーヒル」内 静岡県伊豆市下白岩1434

担当：梅沢 直充 TEL：090-6543-0427(梅沢携帯)

(2) 会期前後：「一般財団法人日本中学生野球連盟」内

東京都渋谷区神山町11-15 神山フォレスト

TEL：03-6456-8101

11 出場資格 日本国内の中学校に在籍する生徒で、当連盟都道府県支部の定める方法により編成され、ブロックで出場権を得たチームとする。

12 チーム編成

(1) チームスタッフ 5名以内

<内訳> 団長(引率責任者)1名 監督1名 コーチ2名以内 マネージャー1名

(役職の兼任可。団長・監督・コーチは成人のみ。マネージャーは中学生でも可。)

(2) 選手(中学生) 20名以内

投手の負担軽減の観点から、投手ができる選手を多く登録すること。なお、選抜チームではなく学校部活動などの単独チームでの参加の場合は、ブロック内の他チームから2名を上限として投手に限り補強を認める(選手数は20名以内に収めること)。

※ 優勝戦の登録選手(20名以内)は参加登録変更届の締切日時をもって確定すること。

※ 復活戦はフリーエントリー(20名以上のベンチ入り可)とし、メンバー交換用紙にはベンチ入りするすべての選手を記載すること。

(3) 登録人数は、ブロック代表選考においてはブロック長の裁量に委ねるが、本大会は(1)(2)に従うこと。

13 ブロック出場枠

以下の通りとする。ブロック代表選考については、各ブロック長の管轄のもとに執り行う。

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州沖縄	合計
出場枠	1	2	3	2	2	2	1	1	2	16

14 競技規則

(1) 2026年公認野球規則および別に定める大会特別規則による。

(2) 使用球はM号ボール(赤ライン加工)とする。

15 競技方法 優勝戦と復活戦を実施する。優勝戦一回戦敗退チームは復活戦に出場する。
全試合トーナメント方式とし、各試合は7回戦とする。
細則は大会特別規則に定める。

16 組合せ 抽選は主催者による責任代理抽選とし、抽選結果は日本中学生野球連盟HPに掲載する。

17 監督・主将会議 10月30日(金) 16:00～16:30

出場チームの監督並びに主将は、ユニフォーム着用の上、必ず参加する。

なお、やむを得ず欠席する場合は代理出席を認める。

会場：ホテルワイナリーヒル内 室内練習場

静岡県伊豆市下白岩1434 (サッカー場横)

TEL 0558-83-2310

18 開会式 10月30日(金) 16:30～17:00

監督・主将会議に出席した2名が参加する。

会場：同上

19 出場手続

(1) チーム代表者に送付する所定の様式で作成し、代表決定後速やかに下記のメールアドレスに送信する。

(2) 申込先

一般財団法人日本中学生野球連盟 大会本部 事務局
担当：梅沢 直充
携帯：090-6543-0427
MAIL：entry@jjbf.jp (大会出場手続専用メールアドレス)
TEL：03-6456-8101
FAX：03-6407-1242
HP：<https://www.jjbf.jp/>

20 大会出場費 1チームあたり30,000円、参加登録選手1人あたり2,000円を、来場時に大会本部に納入する。

21 交通費補助 出場チームに、大会本部が定めた金額を交通費の一部として補助する。
金額や振込期日については、大会本部より出場チームに連絡する。

22 傷病時の対応 大会参加者は会期中の傷病に備え、事前にスポーツ安全保険等に参加する。
会期中に傷病等あった場合は、引率責任者は大会本部と連携して迅速かつ適切に対応する。

23 宿泊等

- (1) 「宿泊等手配要項」を別に定める。大会期間中の宿泊、昼食(お弁当)等については、適切な危機管理対応に期するため、必ず指定の業者を通じて申し込むこと。
- (2) 申込は「宿泊等手配要項」を確認の上、代表決定後速やかに申し込む。

株式会社ＪＴＢ スポーツマーケティング事業部 スポーツ営業第２課
第24回全国中学生都道府県対抗野球大会デスク
担当：大石・飯島・菅原
住所：〒163-0454 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビルディング54階
TEL：03-5909-8676
MAIL：jjbf@jtb.com
営業時間：9:30～17:30（土日・祝日は休業日）

24 試合のインターネット等によるＬＩＶＥ配信

優勝戦の中継映像を、大会特設サイトにインターネットＬＩＶＥ配信を行う。
詳細については大会特設サイト <https://jjbf-bbt.jp> を参照。

25 個人情報の取り扱い

大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、提供された個人情報について適正に取り扱う。本大会における事務連絡、プログラム制作、連盟公認サイト及び同SNSへの掲載、インターネット及び衛星放送による試合の動画配信、報道関係機関への提供、宿泊施設への提供、記録や賞の発表、行政機関等からの問い合わせへの対応、その他大会運営に必要な範囲に使用するものとし、大会参加者はこれに同意するものとする。

26 ご案内

車イスでご来場の方、障害者手帳をお持ちの方は、大会本部にお声掛けください。
なお、状況によっては特別な対応がとれない場合がありますので、予めご了承ください。

【お問い合わせ先】

一般財団法人日本中学生野球連盟 事務局 梅沢 直充
TEL：03-6456-8101
FAX：03-6407-1242
携帯：090-6543-0427
MAIL：umezawa@jjbf.jp
HP：<https://www.jjbf.jp/>

【表 彰】

〔 優勝 〕 チームに以下の賞杯等を授与する。

- ① 文部科学大臣杯（文部科学省） 持ち回り
- ② 富士山杯(静岡県知事賞) 持ち回り
- ③ 優勝旗（日本中学生野球連盟） 持ち回り
- ④ 優勝盾（日本野球連盟）
- ⑤ 賞状（文部科学省、静岡県、日本中学生野球連盟、日本野球連盟、NHK、読売新聞社）
- ⑥ メダル（優勝記念の金メダル 選手、団長、監督、コーチ、マネージャーの25名以内）

〔 準優勝 〕 チームに以下の賞杯等を授与する。

- ① 準優勝杯（日本中学生野球連盟）
- ② 準優勝盾（日本野球連盟）
- ③ 賞状（日本中学生野球連盟、日本野球連盟、NHK、読売新聞社）
- ④ メダル（準優勝記念の銀メダル 選手、団長、監督、コーチ、マネージャーの25名以内）

〔 第3位 〕 チームに日本中学生野球連盟から賞状・盾を授与する。

〔 復活戦優勝 〕 チームに日本中学生野球連盟から賞状・盾を授与する。

▷個人賞

〔 志太勤賞 〕 大会を通じて最も活躍した選手(最高殊勲選手)1名に授与する。

〔 山本英一郎賞 〕 大会を通じて活躍した選手(殊勲選手)1名に授与する。

〔 野村克也賞 〕 大会を通じて優れた指導者1名に授与する。

※志太勤・・・前・日本中学生野球連盟会長。中学生時代は軟式野球、静岡県立葦山高校進学後に硬式野球部に入部し、投手として活躍。甲子園を目指し猛練習に励んでいたが、高校2年生のときに肩・肘を故障し野球を断念。夢を野球からビジネスに切り替え、シダックスを創業。2001年、「私の高校時代の辛い思いを、今の子どもたちに経験してほしい」という強い想いのもと、当連盟を創設した。2025年7月没。享年90歳。志太勤賞は第18回(2018年)大会より、大会を通じて最も活躍した選手(最高殊勲選手)1名に贈呈される賞として制定された。

※山本英一郎・・・全日本アマチュア野球連盟会長、日本野球連盟会長などアマ球界の要職を歴任。野球の国際化に尽力し、志太勤・当連盟会長とともに世界への普及に多大な貢献をした。1997年、野球殿堂入り。2006年5月没。享年87歳。山本英一郎賞は第6回(2006年)大会より、大会を通じて活躍した選手(殊勲選手)1名に贈呈される賞として制定された。

※野村克也・・・日本プロ野球界の発展に大きく貢献した、選手、監督、評論家。2003年から3年間、志太勤(前会長)からの要請で社会人野球シダックスのGM兼監督に就任。伊豆志太スタジアムで選手と寝食を共にして指導にあたった。1989年、野球殿堂入り。2020年2月没。享年84歳。野村克也賞は第24回(2026年)大会より、大会を通じて優れた指導者1名に贈呈される賞として制定された。